

# 段ボールコンポストに挑戦!!

## ●準備しましょう

- ・段ボール箱(みかん箱程度の大きさ)
- ・板状の段ボール(二重底用)
- ・ピートモス(15%以上)
- ・もみ殻くん炭(10%以上)
- ・風通しのいい台  
(底に水がたまらないようすのこ状のものがよい)
- ・コンポストキャップ
- ・小型スコップ(シャベル)
- ・温度計(100度計)

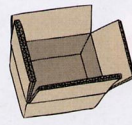
※「ピートモス」と「もみ殻くん炭」を3:2の割合で混ぜてください。

(例) 15% : 10%  
(18) (12)

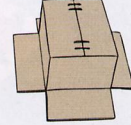


### 箱の選び方、ここがポイント!

①防水加工していないもの。



③裏面が針止めしてあるものが良い。  
ガムテープ止めの場合は、ビニールより紙テープの方が長持ちします。  
(通気性がよいため)

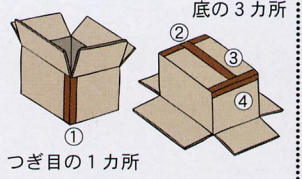


②二重のハニカム構造が丈夫で長持ちします。

### 虫の季節の対策

①底から虫が入りやすいので、図のように4カ所をガムテープ(紙製)かテーピングなどでめばりしてください。

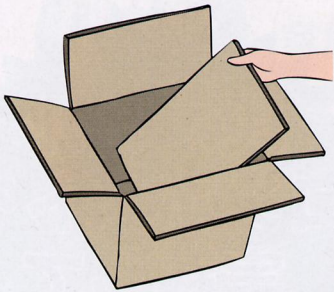
②コンポストキャップをかぶせます。  
コンポストキャップは使い古しの衣類で作れます。(LサイズのTシャツなど)



## ●設置しましょう

①箱の底を二重にしましょう。

こうすると長持ちします。

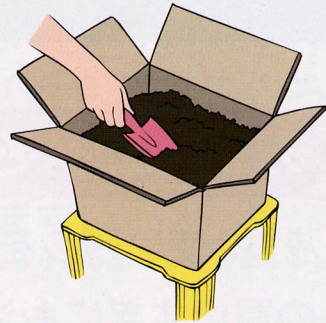


②置き場所を決めましょう。



雨がかからない、できれば日当たりの良い場所を選びましょう。  
風通しの良い台に段ボール箱を置きます。

③基材を箱に入れましょう。



基材(ピートモスともみ殻くん炭)を段ボール箱に移し、よく混ぜ合わせます。

## ●さあ、使いましょう

①生ごみを入れましょう。



1日500g~1kgを目安に生ごみを投入。

※1 堆肥(コンポスト)にしましょう。

②よく混ぜましょう。



箱の側面近くを混ぜすぎないのがコツ。

③虫よけのためコンポストキャップをかぶせましょう。冬場は保温効果があります。



※2 温度計を中心にさしてふたをし、コンポストキャップをかぶせます。

※1 段ボール箱の使用期間は3ヶ月程度です。段ボールが水分を含んで型くずれしてきます。堆肥(コンポスト)として利用するには、庭があれば土の中で熟成させるのがベストです。庭がない場合は、そのまま段ボール箱の中で、時々水分を加え、切り返しながらか解させます。温度の上昇がなくなれば堆肥として使えます。(2週間~1ヶ月程度の熟成が目安です。)

※2 段ボール箱内の温度が10℃以下に下がると分解が進みません。日なたへ移動したり、米ぬか・天かす・糖質のものなどカロリーが高いものを入れると分解が進みやすくなります。できるだけ20℃以上になるよう工夫しましょう。